

科目名	基礎看護学実習	必修・選択	授業形態			単位数	開講時期	
区分	専門分野Ⅱ		実習			2	1年 後期	
担当者	加賀爪美佳	資格	看護教員	実務経験	有・無	時間	90時間	
担当者	長野恵美	資格	看護教員	実務経験	有・無	時間		
担当者	眞木智美	資格	看護教員	実務経験	有・無	時間		
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>すでに学んだ基礎的な知識・技術・態度を活用し、実際に看護場面で看護過程を展開することにより、対象に応じた看護が実践できる基礎的能力を養う。</p>								
<p>学生の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の特徴を理解できる。 2. 対象に応じたコミュニケーションを図ることができる。 3. 対象に応じた生活援助技術を実践できる。 4. 対象を総合的に理解し、看護過程のプロセスを用いて計画に沿った看護を実践できる。 5. 事実や根拠に基づきながら、思考・判断することができる。 6. 保健・医療・福祉チームにおける看護の役割を理解できる。 7. 看護学生としての責任と義務を果たす行動をとることができる。 8. 自己の看護観を深めることができる。 								
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>実習場所 愛媛県立今治病院（5東・4西・4東・3西・3東 の各病棟）</p> <p>実習期間 1年次 後期 10日間（内1日は学内） 実習期間中に実習施設でオリエンテーションを受ける</p> <p>実習方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習前、対象に関する基礎情報を確認し、自己学習をする。 2. 実習施設でオリエンテーションを受け、看護学実習における学習環境を理解する。 3. 対象を1名受け持ち、看護過程の展開を学ぶ。 <p>実習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の情報を収集し、アセスメントを行う。 2. 優先順位の高い予測した看護上の問題について看護診断を行う。 3. 対象の未充足のニーズに関して適切な看護計画を立案する。 4. 看護計画に基づいた看護を安全に実施する。 5. 看護を実施後、看護計画の評価を行う。 6. 実習最終日に、実習目標の到達度を評価し、実習のまとめを行う。 								
教科書								
参考書								
<p>成績評価方法</p> <p>出席日数、実習内容、実習記録などにより総合的に判断、評価する</p>								

科目名	地域・在宅看護論実習	必修・選択	授業形態			単位数	開講時期
			実習			2	2年 1学期
区分	統合分野						
担当者	岡崎弘美/長野恵美	資格	看護教員	実務経験	有・無	時間	90時間
担当者	加賀爪美佳	資格	看護教員	実務経験	有・無	時間	
担当者	瀧本広美	資格	保健師 看護師	実務経験	有・無	時間	
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅看護の対象に応じた在宅看護実践能力を養う。</p>							
<p>学生の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護の現状と対象について理解できる。 2. 在宅看護の役割と援助の実際について理解できる。 3. 関連機関との連携と社会資源活用について理解できる。 4. 在宅療養者とその家族を支援する地域福祉サービスについて理解できる。 5. 在宅介護を支援する公的サービスの内容について理解できる。 6. 人々の健康増進、疾病予防のための保健活動について理解できる。 7. 施設内看護と地域看護との連携を知り、継続看護の必要性について理解できる。 8. 看護学生としての責任と義務を果たす行動がとれる。 9. 自己の看護観を深めることができる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>実習場所 訪問看護ステーション 今治市中央保健センター 社会福祉協議会</p> <p>実習期間 訪問看護ステーション実習 2年次 1学期 5日間 保健センター実習 2年次 1学期 2日間 (実習開始前に実習施設でオリエンテーションを受ける) 社会福祉協議会実習 2年次 1学期 4日間 (実習開始前に実習施設でオリエンテーションを受ける)</p> <p>実習方法 1. 実習前、在宅看護論に関する自己学習をする。 2. 実習施設でオリエンテーションを受け、看護学実習における学習環境を理解する。 3. 訪問看護ステーション・保健センター・社会福祉協議会で実習を行う。</p> <p>実習内容 1. 実習指導者に同行し、利用者宅の訪問を行う。 2. 保健センターでの実習では、センター内あるいは地域に赴いての活動の実習を行う。 3. 社会福祉協議会の実習では、デイサービスセンター・訪問入浴サービスの実習を行う。</p>							
教科書							
参考書							
<p>成績評価方法</p> <p>出席日数、実習内容、実習記録などにより総合的に判断、評価する 3施設での評価点を加味して総合的に評価する</p>							

科目名	成人・老年看護学実習	必修・選択	授業形態			単位数	開講時期
区分	専門分野Ⅱ		実習			2	2年 前期・後期
担当者	加賀爪美佳	資格	看護教員	実務経験	有・無	時間	90時間
担当者	長野恵美	資格	看護教員	実務経験	有・無	時間	
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>成人期・老年期の特徴を理解し、対象及びその家族の健康問題を解決するために必要な看護が実践できる能力を養う。</p>							
<p>学生の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期・老年期にある対象やその家族の特徴を理解できる。 2. 成人期・老年期にある対象の健康レベルやライフサイクルの視点から健康上の問題を考え、個別性に応じた看護過程の展開ができる。 3. 成人期・老年期にある人々の様々なものの見方、考え方、人生観、社会的存在について関心を持ち、人間としての尊厳の気持ちを持って接することができる。 4. 保健・医療・福祉チームにおける多職種との協働、および看護師の役割を理解できる。 5. 看護学生としての責任と義務を果たす行動をとることができる。 6. 自己の看護観を深めることができる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>実習場所 養護老人ホーム（いこいの里しみず・泉荘）、特別養護老人ホーム（唐子荘・日高荘） 愛媛県立今治病院（5東・3東・3西 の各病棟）</p> <p>実習期間 2年次 前期 老人ホーム 4日間 後期 老年 6日間 成人 10日間（内1日は学内） 実習期間中に実習施設でオリエンテーションを受ける</p> <p>実習方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習前、対象に関する基礎情報を確認し、自己学習をする。 2. 実習施設でオリエンテーションを受け、看護学実習における学習環境を理解する。 3. 主として全身麻酔で手術を受ける術前・術後にある人、回復期にある人、障害コントロールを必要とする慢性期にある人を1名受け持つ。 <p>実習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受け持ち3日目を目安に、優先順位の高い予測した看護上の問題について看護診断を行う。 2. 対象の身体的苦痛を緩和するための援助を行う。 3. 対象の健康レベル、健康障害に応じた日常生活の援助を行う。 4. 対象の健康障害に応じた症状の改善、悪化防止、合併症予防の援助を行う。 5. 対象と家族のQOL向上に向けた援助を行う。 6. 実習最終日に、実習目標の到達度を評価し、実習のまとめを行う。 							
教科書							
参考書							
<p>成績評価方法</p> <p>出席日数、実習内容、実習記録などにより総合的に判断、評価する</p>							

科目名	小児看護学実習	必修・選択	授業形態		単位数	開講時期	
区分	専門分野Ⅱ		実習		2	2年 前期・後期	
担当者	加賀爪美佳	資格	看護教員	実務経験	有・無	時間	90時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>成長発達過程にある子どもと家族を社会の中で捉え、総合的に理解し、各健康段階に応じた看護が実践できる能力を養う。</p>							
<p>学生の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康な子どもの成長発達過程と生活について理解できる。 2. 健康な子どもの日常生活援助について理解できる。 3. 健康障害をもつ子どもの成長発達過程と生活について理解できる。 4. 健康障害をもつ子どもの日常生活援助について理解できる。 5. 子どもを一人の人格をもつ存在として尊重し、子どもの権利を守る行動がとれる。 6. 保健・医療・福祉チームにおける多職種との協働、および看護師の役割を理解できる。 7. 看護学生としての責任と義務を果たす行動がとれる。 8. 自己の子ども観および小児看護観を形成できる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>実習場所 今治市認可保育所 愛媛県立今治病院（4西 病棟）</p> <p>実習期間 保育所実習 2年次 前期 4日間（実習前に実習施設でオリエンテーションを受ける） 病院実習 2年次 後期 6日間</p> <p>実習方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習前、小児看護学に関する自己学習をする。 2. 実習施設でオリエンテーションを受け、看護学実習における学習環境を理解する。 3. 保育所では、健康な乳幼児と関わり、発達段階に応じた日常生活援助を理解する。 4. 病院実習では、1名の患児を受け持ち、小児期の特徴を踏まえて看護過程を展開する。 <p>実習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所実習では、子どもの発達段階に応じたコミュニケーションや日常生活援助を実施する。 2. 病院実習では、受け持ち2日目を目安に、漢字と家族の状況に応じた看護上の問題について看護診断を行う。 以後、長期目標と短期目標を設定し、看護計画を立案、対象の反応を観察しながら対象に日常生活援助を実施する。 3. 小児各期の特徴を踏まえた診察の介助について学ぶ。 4. 実習最終日に、実習目標の到達度を評価し、実習のまとめを行う。 							
教科書							
参考書							
<p>成績評価方法</p> <p>出席日数、実習内容、実習記録などにより総合的に判断、評価する 2施設での評価点を加味して総合的に評価する</p>							

科目名	母性看護学実習	必修・選択	授業形態		単位数	開講時期	
			実習		2	2年 前期・後期	
区分	専門分野Ⅱ						
担当者	眞木智美	資格	看護師	実務経験	有・無	時間	90時間
担当者	瀧本広美	資格	保健師 看護師	実務経験	有・無	時間	
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>新しい家庭の誕生期にある人々の特徴を理解し、健康の保持増進のために必要な看護が実践できる能力を養う。</p>							
<p>学生の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に暮らす母子に必要な健康支援を理解することができる。 2. ライフサイクル各期における母性・父性の発達とそれを促す看護を理解できる。 3. 妊婦・産婦・褥婦および新生児の生理的な経過と母子関係ができる。 4. 妊婦・産婦・褥婦および新生児とその家族への看護の実際が理解できる。 5. 周産期にある母子とその家族の健康増進上での問題と課題を把握し、看護過程を展開できる。 6. 生命を尊重し思いやりのある態度を身につけることができる。 7. 保健・医療・福祉チームにおける多職種との協働、および看護師の役割を理解できる。 8. 看護学生としての責任と義務を果たす行動がとれる。 9. 自己の健全な母性・父性観を芽生えさせることができる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>実習場所 今治市中央保健センター 愛媛県立今治病院（4東 病棟）</p> <p>実習期間 保健センター実習 2年次 前期 2日間 （実習前に実習施設でオリエンテーションを受ける） 病院実習 2年次 後期 8日間（実践外活動2日間を含む）</p> <p>実習方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習前、母性看護学実習に関する自己学習をする。 2. 実習施設でオリエンテーションを受け、看護学実習における学習環境を理解する。 3. 保健センター・病院で実習を行う。 <p>実習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健センターでの実習では、センター内あるいは地域に赴いての活動の実習を行う。 2. 病院実習では、産褥期及び新生児を1名受け持つ。 産褥期・新生児期1～5日目のスタンダードな看護計画を事前に準備しておく。 3. 受け持ち2日目を目安に、優先順位の高い予測した看護上の問題について看護診断を行う。以後、長期目標と短期目標を設定し、看護計画を立案、対象の反応を観察しながら対象に応じた日常生活援助を実施する。 							
教科書							
参考書							
<p>成績評価方法</p> <p>出席日数、実習内容、実習記録などにより総合的に判断、評価する 2施設での評価点を加味して総合的に評価する</p>							

科目名	精神看護学実習	必修・選択	授業形態			単位数	開講時期	
			実習			2	2年 前期	
区分	専門分野Ⅱ		資格	看護教員	実務経験	有・無	時間	90時間
担当者	渡邊恵子/長野恵美							
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>精神科病棟および地域で生活する精神障害をもつ人々とその家族を理解し、対象に応じた看護を行うために必要な知識、技術、態度を養う。</p>								
<p>学生の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神保健福祉法と入院環境の関連について理解できる。 2. 精神が障害された人の治療的環境について理解できる。 3. 精神が障害された人への各治療法について理解できる。 4. 受け持ち患者のセルフケア能力をアセスメントし看護過程の展開ができる。 5. 治療的かかわりを目的としたコミュニケーションについて理解できる。 6. 地域との連携について理解し、退院後の生活について考えられる。 7. 保健医療福祉チームにおける各職種の役割を理解するとともに、看護師の役割を理解できる。 8. 精神看護に対する自己の看護観を述べるができる。 								
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>実習場所 正光会今治病院</p> <p>実習期間 2年次 前期 10日間（内1日は学内） 実習期間中に実習施設でオリエンテーションを受ける</p> <p>実習方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習前、対象に関する基礎情報を確認し、自己学習をする。 2. 実習施設でオリエンテーションを受け、看護学実習における学習環境を理解する。 3. 対象を1名受け持ち、看護過程の展開を学ぶ。 <p>実習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受け持ち4日目を目安に、対象のセルフケア不足に対する援助計画の立案ができる。生活者としての精神障害者に対する理解を深め、日常生活援助を実施する。 2. 精神科病棟、地域で行われている保健医療福祉アプローチ（SST、作業療法、デイケア、訪問看護など）について知る。 3. 病院・地域における各種専門職と看護師の連携について知り、看護師のコーディネーション機能を理解する。 								
教科書								
参考書								
<p>成績評価方法</p> <p>出席日数、実習内容、実習記録などにより総合的に判断、評価する</p>								

科目名	統合実習	必修・選択	授業形態			単位数	開講時期	
区分	統合分野		実習			2	2年 後期	
担当者	加賀爪美佳	資格	看護教員	実務経験	有・無	時間	90時間	
担当者	長野恵美	資格	看護教員	実務経験	有・無	時間		
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>病棟管理や看護専門職としての役割を理解し、看護チームの一員として看護を実践することで、知識・技術・態度を統合して看護実践能力を養う。</p>								
<p>学生の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病棟管理の実際や他部門との調整等の見学を通して、看護管理の実際を学ぶ。 2. 看護チームの流れを把握し、リーダーシップ、メンバーシップについて理解できる。 3. 複数の受け持ち患者の状況をアセスメントし、ケアの優先順位の判断や、時間管理をすることで適切な看護が実践できる。 4. 受け持ち患者の診察の補助技術を、安全性、正確性を考慮しながら見学する。 5. 看護学生としての責任と義務を果たす行動がとれる。 6. 統合実習で学んだことを通して、看護師としての自己の目標や課題を明確にできる。 								
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>実習場所 愛媛県立今治病院（5東・4西・4東・3西・3東 の各病棟）</p> <p>実習期間 2年次 後期 10日間（内1日は学内）</p> <p>実習方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習前、対象に関する基礎情報を確認し、自己学習をする。 2. 看護管理の実際について学ぶ。 3. 看護チームの流れを把握し、リーダーシップについて理解する。 4. 受け持ち患者を含め、複数の患者の状況に応じた看護の実際を理解する。 <p>実習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病棟看護長に同行し、看護管理の実際を見学する。 2. チームリーダーに同行し、リーダーの役割を学ぶ。 3. 受け持ち患者の看護過程を展開し、援助を実施する。 4. 複数患者へのケアの優先順位や時間管理について学ぶ。 5. 実習期間中に1日のみ、准夜勤の看護師に学生の受け持ち患者の申し送りを実施する。 6. 受け持ち患者の診療補助技術を、安全性、正確性を考慮しながら見学する。 								
教科書								
参考書								
<p>成績評価方法</p> <p>出席日数、実習内容、実習記録などにより総合的に判断、評価する</p>								